

令和5年における上富良野町の交通事故発生状況(人身事故のみ)

1. 交通事故発生件数と死傷者の状況

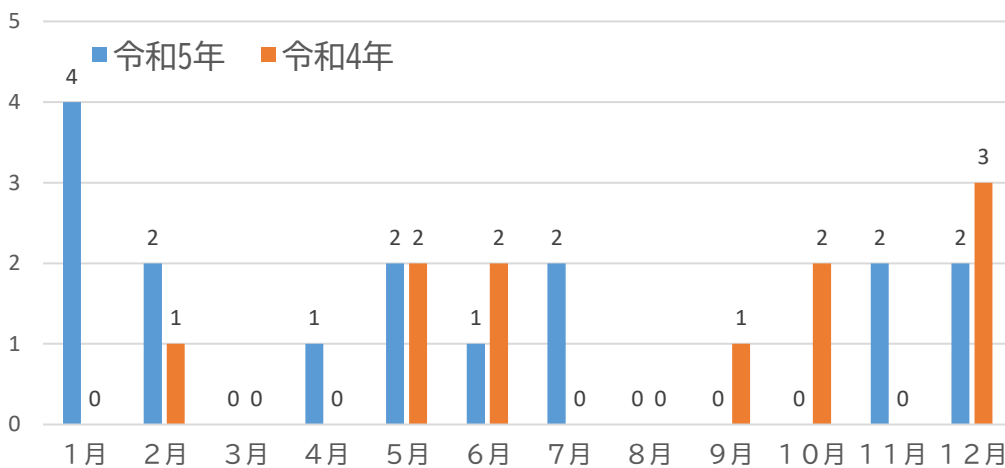
	件数	死者数	重症者数	軽傷者数
令和5年	16	3	2	22
令和4年	11	0	1	12
前年比	5	3	1	10

交通事故死ゼロ日数 114日
(令和5年12月31日時点)

上富良野町においては、令和5年中の死亡事故の発生は、1月10日、大型ダンプと訪日外国人が運転する普通乗用車が接触する事故が発生し、2名の尊い命が失われました。これにより、交通死亡事故ゼロ日数は4774日で途切れしました。

さらに、9月8日にはツール・ド・北海道大会中上富良野町内でレースに参加していた選手とコース内に侵入した乗用車が衝突する事故により1名が死亡しました。

月別発生状況

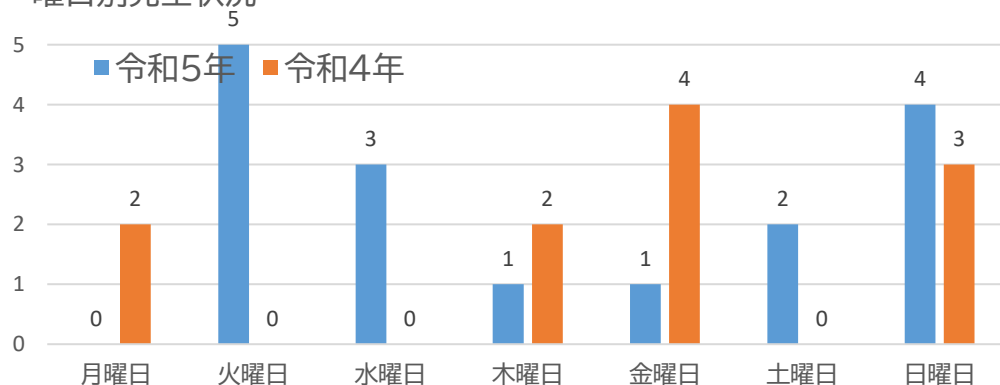


新型コロナウイルス感染症が5類に移行され、社会活動が活発化したことで外国人旅行者やレンタカーが増えてきている。

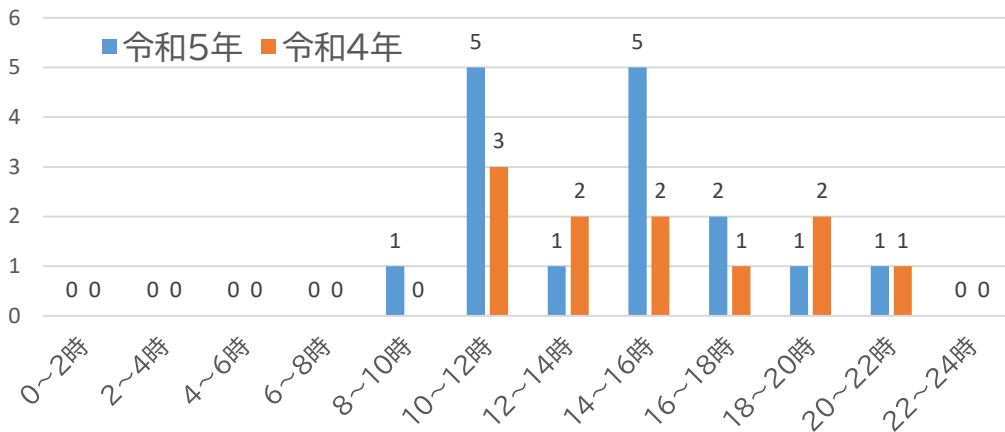
路面状況が変化する11月から12月に事故が増える傾向。

近年減少傾向にあった交通事故発生件数、傷者数も前年に比べ増加している。

曜日別発生状況



時間別発生状況



事故の発生は、週末と火曜日・水曜日の発生が多い。第一当事者の運行目的では「観光・娯楽」が半数を占めていた。

事故が発生している時間帯は、通勤、通学時間帯よりも日中の発生が多い。

2. 道路別の交通事故発生状況（件数）

	国道	道道	町道	その他	合計
令和5年	2	8	5	1	16
令和4年	3	5	3	0	11
前年比	-1	3	2	1	5

交通事故の発生場所は、市街地よりも郊外での発生が多いことから、観光地から観光地までなどの通過型の事故となっている。

道道における交通事故の半数は十勝岳温泉と市街地を結ぶ道道吹上線となっている。

3. 事故発生現場の形態（件数）

	交差点	カーブ	直線	その他	合計
令和5年	12	1	3	0	16
令和4年	7	0	3	0	10
前年比	5	1	0	0	6

発生している交通事故の多くは交差点で発生し、市街地での発生件数が多い。

郊外では直線での割合が多くなり、見通しの良い直線道路でのスピードの出しすぎや標識の見落とし、一時不停止が原因の交通事故が増えている。

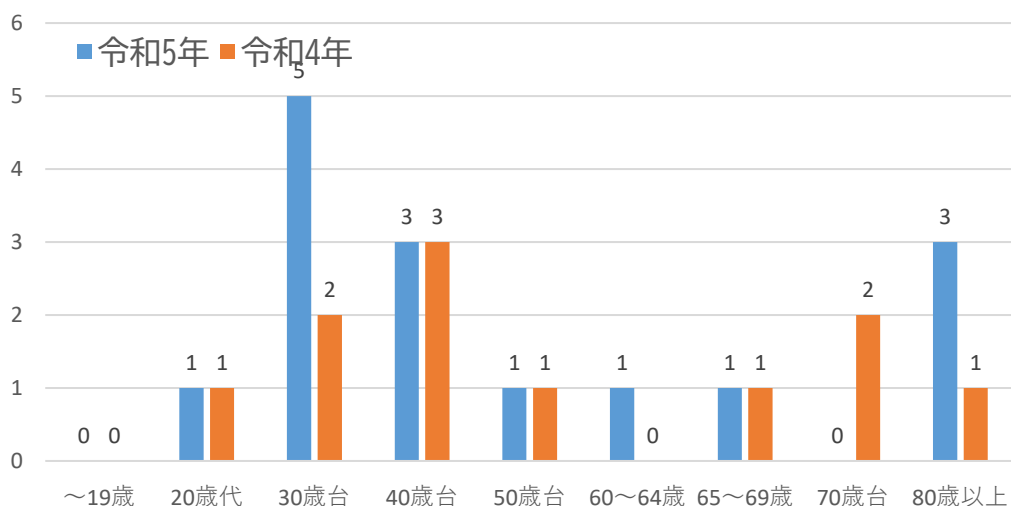
4. 第一当事者（事故を起こした人）の居住地別発生状況（件数）

	町内	道内	道外	不明	合計
令和5年	4	8	4	0	16
令和4年	5	5	1	0	11
前年比	-1	3	3	0	5

新型コロナウイルス感染症が5類に移行され、社会活動が活発化したことで観光客が増加したことに伴い、町外に居住する者の事故が増えた。

※訪日観光客は、レンタカーを借りた場所で区分されている

5. 第一当事者（事故を起こした人）の年代別（人数）



これまで、65歳以上の高齢者による交通事故の件数が半数以上を占めていたが、ほぼ全ての年齢層で発生している。

6. まとめ ～今後の交通事故対策～

- ・加齢に伴う身体能力の衰えを客観的に自己分析、または、家族の方に助言をもらい、事故を起こす前に運転免許の返納について考えてみましょう。
- ・相手が気づいていなくても、自分が気づいていれば大半の事故は防ぐことができます。外を歩くとき、自転車に乗るとき、車に乗るとき、常に周囲に意識しましょう。
- ・自宅付近やいつも通勤などに使う慣れた道路でも油断は禁物です。交通事故は、いつ、どこで起きるかわからないことから、常に初心に帰った運転を心がけましょう。
- ・自転車でも交通事故を起こすと自動車と同様に賠償責任が生じます。万が一に備えて自転車保険に加入しましょう。